

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	世界の子どもたちと体験活動等を通じて絆を強化し、世界に開かれた復興を目指す国際交流事業～ジョイン・イン・ジャンボリー～		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	参事官(青少年健全育成担当)		参事官 (青少年健全育成担当) 勝山 浩司		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-3. 青少年の健全育成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)、新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)、子ども・若者ビジョン(平成22年7月23日子ども・若者育成支援推進本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災からの我が国の復興に当たっては、国際社会との絆を強化し、諸外国の様々な活力を取り込みながら、内向きでない、世界に開かれた復興を目指す必要がある。そのため、全国の青少年教育団体やNPO、ボランティア、さらには地域コミュニティなどと連携し、全国の青少年教育施設等を活用して、海外の青少年と国内の青少年との自然体験・スポーツ体験・文化体験等を交えた国際交流を図り、もって人類の未来に貢献する高い志を持った日本の将来を担う青少年の育成を図る。また、これらの取組を積極的に全国及び海外に発信し、日本の復旧・復興をアピールする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	夏季休暇中の約1週間を利用して、東日本大震災の影響を特に受けた、岩手県、宮城県、福島県(以下、「東北3県」という。)に所在する青少年教育施設等に海外の青少年及び国内の青少年(特に被災地の青少年や余儀なく県外に転校・転出した青少年)を招き、自然体験・スポーツ体験・文化体験のほか、東日本大震災からの復旧・復興を見据えつつ、青少年自らが企画・運営した健康・環境・人権・平和・国際理解等の様々なプログラムの国際交流事業を実施する。また、東北3県以外の青少年教育施設等においても留学生などを交えて、同様のプログラムを同時開催するとともに、東北3県に所在する青少年教育施設等と東北3県以外の全国に所在する青少年教育施設等をインターネットなどを活用して繋ぎ、全国の青少年と体験や情報を共有し、これらの取組を世界に発信する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					250	
	執行額						250	
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業の目的は人類の未来に貢献する高い志を持った日本の将来を担う青少年の育成及び日本の復旧・復興を全国・海外に発信するものであり、定量的な成果目標を示すことは困難である。		成果実績	%				-
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	当該事業参加予定者数		活動実績(当初見込み)	人				※24年度の活動見込である (2,520)
単位当たりコスト	98,712(円/人)		算出根拠	○ 参加者1人あたりに係るコスト X/Y=98,712(円/人) X:248,755,000円(当該事業委託額) Y:2,520人(当該事業参加予定者数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		0.2百万円	[東日本大震災復興関連事業 要求額250百万円]				
	職員旅費		0.8百万円					
	委員等旅費		0.1百万円					
	庁費		0.1百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費		248.8百万円					
計		250百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・東北3県に海外の青少年を招き、諸外国の日本への理解の増進、日本ブランドの再構築、日本製品の信頼性回復・向上、効果的な情報発信の強化、「クールジャパン」の推進、海外における風評被害への対策、地方の魅力発信、青少年交流や親日家育成のための交流プログラムを実施することにより、日本の復旧・復興を全国・海外に発信する本事業は、国の事業として最適である。</p> <p>・全国規模で、同様のプログラムを同時開催するとともに、東北3県に所在する青少年教育施設等と東北3県以外の全国に所在する青少年教育施設等をインターネットなどを活用して繋ぐことで、全国の青少年と体験や情報を共有し、これらの取組を世界に発信する本事業は、青少年の健全な育成及び日本の復旧・復興を全国・海外に発信するという点で効果的な事業である。</p> <p>・本事業は、様々な国の青少年との国際交流を実施することで、「国際社会との絆を強化し、諸外国の様々な活力を取り込みながら、内向きでない世界に開かれた復興（「東日本大震災からの復興の基本方針」平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部）」に資するものであり、必要不可欠な事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、定量的な成果目標を立てることは困難であるが、事業効果についても適切に検討されており、コストの精査も十分行われている。</p> <p>広く被災地ほかのニーズに応える事業でもあり、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※当該資金の流れは、予算積算場において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
250百万円

諸謝金	0.2百万円	} 含む
職員旅費	0.8百万円	
委員等旅費	0.1百万円	
庁費	0.1百万円	

学識経験者、青少年団体関係者等で構成される企画推進委員会を設置し、委託先の選定をはじめ本事業の推進方策等を検討するとともに、現地視察なども行ったうえで、事業の事後評価についても実施する。

【公募・委託】

A ジョイン・イン・ジャンボリーの実施
民間団体等
(全1団体 248.8百万円)

東日本大震災の影響を特に受けた、岩手県、宮城県、福島県(以下、「東北3県」という。)に所在する青少年教育施設等に海外の青少年及び国内の青少年を招き、自然体験・スポーツ体験・文化体験のほか、東日本大震災からの復旧・復興を見据えつつ、青少年自らが企画・運営した健康・環境・人権・平和・国際理解等の様々なプログラムの国際交流事業を実施する。

また、東北3県以外の青少年教育施設等においても留学生などを交えて、同様のプログラムを同時開催するとともに、東北3県に所在する青少年教育施設等と東北3県以外の全国に所在する青少年教育施設等をインターネットなどを活用し、全国の青少年と体験や情報を共有し、これらの取組を世界に発信する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. ジョイン・イン・ジャンボリーの実施			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@248,755千円×1団体	248.8			
計		248.8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0